

産業開発部門

株式会社 清水製作所宮崎

代表取締役 森木 信一 都城市金田町2815番地

事業内容 高品質製品組立を実現するリング  
プロジェクション溶接技術の開発

当社は産業用機械等の油圧や水圧の伝達に必要な分岐管やシリンダーなどの部品を製作している。今回開発した「リングプロジェクション溶接技術」は、分岐管やシリンダーなどの継手部分の溶接に際し、既存の技術である熟練工によるアークガス溶接ではなく、圧力と電気抵抗熱を用いた機械によるもので、わずか0.3秒で溶接が完了する。この技術は「素形材産業技術賞」を2019年に宮崎県内で初めて受賞している。この画期的な溶接技術開発により、当社ではコストの削減や生産効率アップが図られており、今後成長が期待される企業である。



地方創生部門

株式会社 杉本商店

代表取締役 杉本 和英 西臼杵郡高千穂町大字三田井458-28

事業内容 地域特性を生かした林福連携を  
用いた持続可能な事業モデル構築

当社は、古くから椎茸菌が浮遊する地域として知られ、江戸時代以前から林産物である椎茸栽培が行われている祖母山周辺の生産者から干し椎茸を直接集荷して加工し、全国へ販売している。近年大きく変化する社会環境に対応すべく、新たに始めた障がい者支援施設との連携による栽培・選別作業は、その丁寧さが品質向上につながっている。その製品のひとつ「しいたけパウダー」は海外で人気の商品となり、新たな経済循環を生んで障がい者の方の所得向上に繋がっている。この林福連携事業は、成長する世界の市場、生産者、障がい者支援施設の3者を結びつける持続可能な事業として世界中の取引先から注目され始めている。



地方創生部門

株式会社 NPK

代表取締役 児玉 和博 宮崎市柳丸町10番

事業内容 地域の特産品を活かしたワイナリー  
事業を地域振興につなげていく

当社は1977年に警備業として創業。「安心・安全」を基盤に「ゆとりある暮らし」へのサポートを実現するため、指定管理事業や介護事業、農業事業に至るまで多角的に取り組んできている。2016年にワイナリー事業として小林市でブドウ栽培を開始し、翌2017年ワイン特区醸造免許を取得。自社農園で栽培したブドウでワインの自家醸造を稼働させた。2019年には小林市生駒高原に「小林生駒高原葡萄酒工房」をオープンし、本格的にワイン醸造と販売を開始。カフェでは地元の食材を活用した食事の提供を行っている。ワイナリーは周辺施設との連携で新たな観光スポットとして注目され、地域振興への期待が高まる。



学術研究部門

宮崎大学 医学部 整形外科

代表 教授 帖佐 悦男 宮崎市清武町木原5200

事業内容 リモートメディカルサポート  
システムの構築

宮崎大学医学部整形外科は、長年にわたり県内で開催されるスポーツイベントや学校行事等に医師を派遣している。同日に複数のイベントからの依頼が重複することもある。医療現場では通常診療業務があり、人的資源も限られていることから、様々な支障を回避すべく、IT機器利用のテレメディン技術を用いたリモートメディカルサポートシステムを構築した。このシステムにより、医師が直接現場に向かわずとも医療サポートが可能となる。また、スポーツメディカルスタッフの養成や産休・育休の女性医師登用促進が図られる。「スポーツランド宮崎」から「スポーツメディカルランド宮崎」構想への柱と期待されるシステムである。



【2020年度】第39回

助成先決まる

宮崎銀行ふるさと振興助成事業(宮崎県)

一般財団法人 みやぎん経済研究所

ごあいさつ

宮崎銀行ふるさと振興助成事業の助成対象となられた皆さま、誠におめでとうございます。

宮崎銀行ふるさと振興助成事業は、株式会社宮崎銀行が創立50周年を記念して、地域産業の振興と発展に貢献することを目的に開始し、これまでに宮崎・鹿児島両県で累計343先に3億870万円の助成を行っております。今回の助成につきましても、皆さまの取り組みや研究が地域の発展に大きく貢献していくと確信しており、また皆さまの活動を一層飛躍させる一助になれば幸いです。

今後も本助成活動を通じ、地域の皆さまの活動・研究を支援していくとともに、助成先の皆さまの更なる発展を心より祈念いたします。

一般財団法人 みやぎん経済研究所  
理事長 杉田 浩二

地方創生部門

特定非営利活動法人  
のべおか天下一市民交流機構

理事長 松下 宏 延岡市東本小路131番地5

事業内容 のべおか天下一新能

当法人は1997年から「のべおか天下一新能」を開催している。この新能は、舞台設置などすべて延岡市民の手で運営しており、全国的にも珍しい「手づくり新能」として注目されている。開催に関しては、旧延岡藩主内藤家から延岡市に寄贈された能面66面、狂言面6面を使用しており、能楽すべての演目を演じることができる。過去には、人間国宝の故片山幽雪氏や野村万作氏などが出演し、全国でもトップレベルの新能といえる。400年前から延岡の民衆に根付く能楽の伝統は、「のべおか天下一新能」として、今後も「天下一(世界一)」の新能を目指し、さらなる発展が期待されている。



地方創生部門

株式会社 高千穂ムラたび

代表取締役 飯干 淳志 西臼杵郡高千穂町向山6604

事業内容 廃校を活用した菓子製造場と  
出荷場の整備

当社は高千穂町・秋元集落を拠点に、「持続可能なムラづくり」を理念に山村ビジネスのイノベーションに取り組み、甘酒や菓子製造、民宿経営、農業生産等を行っている。2014年から販売する乳酸菌発酵の甘酒シリーズ「ちほまる」は、小売店、インターネット等で評価が高まり、県産品として国内外で愛飲者が増加している。また、人やペット向け焼菓子、ぬか等の米が主原料の「ライスブラン・ビスコッティ」シリーズは噛む力の応援や栄養価、グルテンフリーが売りの。廃校となった小・中学校の校舎を利用して生産体制を整えている。今後も、インバウンドの誘客推進など、地域密着型ビジネスの挑戦が期待される。



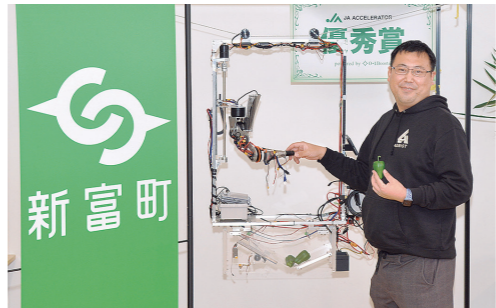
ベンチャー企業部門

AGRIST株式会社

代表取締役 齋藤 潤一 児湯郡新富町富田東1丁目47番地1

事業内容 農業の人手不足を解決するAIと  
収穫ロボット

当社は農業の人手不足を解決するため、AI(人工知能)を使った農業用収穫ロボットを開発している。2019年にビニールハウス内でのピーマンの自動収穫に成功し、吊り下げ式の自動収穫ロボットとしては世界初となった。当社のビジネスモデルは、開発した自動収穫ロボットのレンタル事業である。農家が繁忙となる収穫時期に人を雇うよりも、開発したロボットをレンタルすることで、農家のコストを抑え収益をアップさせることを目的としている。当社の事業は、今後人手不足がますます進む農業の課題を解決する事業として期待されている。



学術研究部門

宮崎大学 教育学部 国語教育講座

准教授 山元 宣宏 宮崎市学園木花台西1-1

事業内容 宮崎の偉人 安井息軒による論語  
解釈の研究

山元准教授は、「宮崎の偉人 安井息軒」の研究をライフワークとし、息軒が記した論語の解説書「論語集説」を通して、息軒の思想を安井息軒記念館や地域公民館等で説いている。息軒の研究が敬遠されてきたのは、息軒の著作が漢文で書かれており、緻密な考証に基づくため、漢学の蓄積がないと読解が難解であったことによる。その難解な著作を漢字研究に精通した山元准教授が今解説に至った。息軒は清武町出身で、江戸で私塾「三計塾」を開塾。当時の躍動する若者に影響を与えた人物として郷土が誇る偉人である。山元准教授の研究は、本県の文化・芸術の振興に深く関連するものであり、今後の更なる研究に期待が寄せられる。

